

中国インターンへの道(2)

植 田 均

1. テクノセンターとは何か？
2. 本学学生の「中国ビジネス・インターンシップ」（実地研修）
3. 事後研修（帰国後の成果）

1. テクノセンターとは何か？

テクノセンターは、1991年に香港、深圳で事業を営む日本人企業家達が核になり、日本の中小企業の中国進出をサポートする目的で設立。『望郷と訣別を』（文春文庫）によれば石井次郎氏らが創設、現在は佐藤征洋社長が代表（総経理）。

日本の産業構造の変化に耐え、競争に勝ち抜き、そして新しい事業展開を図る為に、日本の企業はアジア進出をせざるを得ない。大企業は潤沢な資金と人脈を擁するが、中小企業の場合はあらゆる面で欠けた点がある。その辺りを全面的にサポートするのがテクノセンターである。

1. 1. 正式名及び会社沿革

【会社概要】

名 称：日技城有限公司

設 立：1991年11月

資本金：HK\$41,475,000（2006年3月現在）

本 社：香港

【会社沿革】

1991年11月 香港、深圳で事業を営む日本人企業家達が核になり、日本の中小企業の中国進出をサポートすることを目的に第1テクノセンターを深圳市布吉鎮に設立。（9社800名）

1992年7月 第1テクノセンターオープン。

1993～94年 第1テクノセンターを拡大。

1994年10月 第2テクノセンターを深圳市下李朗に設立。

1995年2月 第3テクノセンターを建設開始。

1995年12月 第2.5テクノセンターを深圳市观澜鎮に設立（現在稼働中）。

2000年9月 第3テクノセンター1号棟が完成。

2001年3月 第2テクノセンター閉鎖、テナントはそこで独立。

2003年3月～12月 第1テクノセンターを閉鎖決定、内3社がそこで独立、4社が第3テクノセンターへ移転。

2006年3月 第2.5テクノセンター（12社）、第3テクノセンター（38社）、合わせて51社、従業員数は3,400名。

【連絡先】

- 香港本社 香港九龙旺角弥敦道625号、雅兰中心2期7楼705-6室
Unit 705-6,7/F,Two Grand Tower, 625 Nathan Road, Mongkok, Kowloon, Hong Kong
Tel: (00852) 3697-8400 Fax: (00852) 3692-5554
- 中国工場 広東省深圳市宝安区观澜街道桂花居委庙溪工業区
Tel: (86) 755-2798-0374 Fax: (86) 755-2798-0910
- 東京事務所 東京都渋谷区恵比寿西1-20-2 西武信用金庫恵比寿ビル7階
河村公認会計士事務所気付
Tel: (81) 03-6415-7756 Fax: (81) 03-5456-0240

1. 2. テクノセンターの経営理念と事業理念

【経営理念】

- ① 高品質の製品を最低価格・最短納期で提供すると共に緊密な情報を常に提供し、顧客の最大満足を得る経営を行う事。
- ② 全事業部のプロフィットセンター化と全従業員の経営参加で付加価値を高める経営を行う事。

【事業理念】

- ① 進出企業の工場運営をサポートすることにより、企業の国際化・活性化及び技術力の維持発展に貢献する。
- ② 技術移転雇用の創出並びに地域製品や生産物等の購入により、中国経済の維持発展及び社会資本の充実に貢献する。
- ③ 適正利潤を確保することを旨とし、株主・従業員・地域社会に対して、有形無形の利益還元を図る。

1. 3. テクノセンターの提供する具体的な業務内容

1) 輸出入支援

- 税関手続き ●機械設備輸入 ●材料輸入 ●製品輸出 ●輸送（輸送保険）

*設備機械、材料の輸入について

輸入明細書を弊社税関部に提出し、弊社にて輸入ライセンス申請を一括して行

います。ライセンスが取得出来た後に輸入が可能となります。

2) インフラ供給支援

- 電気（自家発電） ●上下水道 ●空調 ●パソコン
- 保安・防災 ●保険（機械・設備） ●清掃・衛生管理 ●社用車
- 電話回線

＊テクノセンターに工場を進出するには？

テクノセンター東京事務所にご連絡するか、直接観瀾テクノセンターにて進出の相談をする。日本国内本社の希望を伺ったのち、テクノセンター中国工場へ来て、具体的な工場場所、内装仕様、機械、材料の輸入、人材採用等の準備を開始致します。

3) 従業員採用支援

- 採用 ●宿舎 ●食堂 ●社会保険 ●医療 ●教育講座

＊従業員の募集、管理、教育について

従業員の募集は各社の採用条件を基に弊社にて行います。工場前での広告貼り出し募集、人材市場（職業安定所）にて中途採用者募集、また大学新卒者は国内大学へリクルートツアー組み採用を行っています。給与はテクノセンターの基準に基づき各工場にて決定、採用後の管理、教育は各工場にて業務内容に合わせて実施して頂きます。

4) 駐在員支援

- 宿舎 ●外国人食堂 ●保険(海外旅行傷害疾病保険) ●就業ビザ手続き
- 通勤バス ●個人所得税 ●教育講座

1. 4. テクノセンターはなぜ深圳に根拠地を構えているのか？

深圳は、香港特別行政区として、委託加工に有利な立地条件がある。

具体的には、以下の点に示す通りである。

- ① 古い機械の輸入が可能
- ② 機械の輸入は無税（通常30%程度課税）
- ③ 機械の追加輸入が容易

（三資企業の場合は、資本金の追加から手続きを始める必要があるが、委託加工は追加申請手続きのみ。）

- ④ 材料と製品の輸出入が容易

深圳では集中通関制度を採用しており、輸出・輸入集中通関貨物申告表（通常「清單」）により輸出入が可能。

また、香港→深圳の輸出入は土曜日・日曜日も含めて可能であり、そのメリッ

トは大きい。

当社は電子通関制度を適用し、更に便利になっている。

1. 5. テクノセンターの標準月額費用（ランニングコスト）

工場の使用面積や従業員数に拠りますが、800㎡使用で20名なら月約105万円、30名なら月160万円、70名なら月約237万円程度。

標準月額費用例（2006年7月現在価格使用）

	入居日～半年間 職員5名／工員15名 工場：約800㎡	半年後～一年間 職員8名／工員32名 工場：約800㎡	一年後～ 職員12名／工員58名 工場：約800㎡
工 場 工場代、空調、電気、 水道、輸送、通関。 電話、政府徴収費等	HK\$45,060	HK\$57,340	HK\$72,340
従業員 給与、宿舍、 食堂、社会保険	HK\$25,149	HK\$49,752	HK\$86,520
合計	HK\$70,209	HK\$107,092	HK\$158,860
日本人駐在員 外国人宿舍、食堂	HK\$ 2,260	HK\$ 2,260	HK\$ 2,260
日本人駐在員 就業ビザ取得	HK\$ 1,500	HK\$57,340	HK\$ 900

1. 6. テクノセンターの諸活動

① 深圳日系企業大運動会

日系企業大運動会は2005年で第12回を迎えた、年間最大のイベントです。2005年にはテクノセンター内テナント各社及び隣接地に進出の日系企業と共に合計6,500名もの従業員が参加した。

② 自家発電による電力供給

全工場、事務所、従業員宿舎に対してすべて自家発電による給電を行っているため停電の心配もなく、電圧変電の少ない安定した電力を供給している。

③ 品質改善、日本語教室、中国語教室

中国人幹部育成の為に品質改善講座や日本語学習希望者の為に日本語教室(有料)。日本人駐在員の為に中国語講座を開催。

④ リクルートツアー

年1回、春節(旧正月)前後の時期に国内大学へのリクルートツアーを開催。100名以上の新卒者を採用。

⑤ インターンシップ

毎年8月、9月に日本人大学生をインターンシップ生として約60名を受入れている。また年間を通じ企業内定者や社会人研修生の受入実施。

⑥ 工場長会議

毎月1回、全テナントの工場長による連絡会議を実施。

⑦ 公害ゼロエミッションを目指して

敷地内から排出される水の再利用の為に、4,800万円を投入し水処理施設を完成し50%を再利用している。

⑧ その他のサービスや活動

工場敷地内の緑化やコンビニ、バスケットコート・卓球台の設置の実施。ATMの設置を予定している。また、来客に対してもホテル予約、タクシー手配、航空券手配のサービスも行っている。

1. 7. テクノセンターの製造品目

テクノセンターに入居している工場の製造品目の一例を挙げると、以下のようになる。

産業機器用金具部品・建具(取手、蝶番、金具)の組立・検品

ホットライナーの設計

高圧ヒューズ製造

金属プレス金型製造、プレス加工

世界各国安全規格取得ACコネクタ-IN-LETとのOUT-LETプラグ、IN-LET関連ハーネス・アセンブリー

映像、音響、OA部品、コンピューター部品紙・テープ送りローラー、ピンチロール

電算機用シームレス・印刷リボン

物品輸送業務

防振、防磁、防静電気、遮光、電子絶縁材料の多種多様な形状打抜き加工

数値制御装置、各種モーター駆動装置、電子機器メカニカル装置の設計製造
金属部品の加工、組立
自動車及びコンピューター用ネジの製造
シルクスクリーン印刷、及び加工全般
フレキシブルサーキット（FPC）の補強板の製造
温度センサー加工
教育用生体モデルの製造
プラスチックギヤー、アダプター、カメラ筐体、プリンターパネル等の射出成型
釣具のリール部品等の精密金属加工
自動車、農工機械、及び家電の精密部品製造
ゴム用磁性粉、焼結用フェライト造粒加工、プラスチック磁石、関連設備の設計、
製造販売
線材を使用したスポット溶接及びプレス加工
ネームプレート製造
各種精密ネジの製造（皿小ネジ）
靴底等靴の部品製造
腕時計用防水、防塵パッキング製造
切削工具チップの製造
各種モーター製造
照明器具製造
精密プラスチックギア、ターンテーブル、モーター部品、プリンター及びカメラ部
品の射出成形。
土木、建築工事の請負、修理、メンテ工事、建築材
会計業務
各種教育講座開発
水処理エンジニアリング、水処理施設製造
プラスチック射出成型、カーアクセサリー等加工
遊技機用プラスチック部品の設計開発。
ギアボックス製造
精密加工組立て
プラスチックの着色加工、コンパウンディング
プラスチック射出成型、カーアクセサリー等加工
パソコンの筐体の加工
印刷機周辺機器の製造

2. 本学学生の「中国ビジネス・インターンシップ」(実地研修)

2. 1. 参加者数

2007年 深圳インターンシップ大学別参加者数は以下の表の通りである。

大学名	A班	B班	C班	各大学人数
(関西)関西大学	3	4	1	8
(関東)慶応義塾大学	5		3	8
(関西)奈良産業大学	1	4	3	8
(関東)東洋学園大学	2	3		5
(九州)長崎大学		2	3	5
(関西)桃山学院大学	1		4	5
(関西)羽衣国際大学			4	4
(関東)一橋大学		2		2
(関東)明治大学		2		2
(関東)共栄大学	1			1
(関西)京都大学		1		1
(関東)大東文化大学	1			1
(関西)同志社大学		1		1
(中部)名古屋市立大学	1			1
(関東)日本大学		1		1
北陸先端科学技術大学院	1			1
香港大学	2	2		4
合 計	18	22	18	58

* A、B、C各
コース(班)
定員20名。
* 各大学原則
4名以内を
受け入れる。

	男子	女子	
A班:18名	14	4	18
B班:22名	15	7	22
C班:18名	14	4	18
計	43	15	58

2007年度夏季インターンシップ終了後、テクノセンターのホームページには、本学学生福西康真君(ビジネス学部1回生)の感想文が掲載された。約60名の参加者で、唯一、掲載されたのが、彼のものであった。その箇所を下記に示す。

「工員さんは真面目で、優しく、面白くて、僕たちが忘れていた何かを持っているような気がしました。」「インターンシップの日程のほとんどを山内で働いて本当に良かったと思います。今回のインターンシップですごく貴重な経験ができ、本当に皆様に感謝しています。すごくお世話になりました。この経験を生かし、自分を変えていこうと思っています。2週間、本当にありがとうございました。」

2. 2. K君の研修日誌より

K君はC班で参加。2007年9月4日に到着し、「大変な所に来た。帰りたい!」と100回も心の中で叫んだという。彼の日誌には、そのまま表れている。しかし、第2日目あたりから変化が既に見え始めている。筆者は彼に15日分の日誌の紙を渡しておいたのだが、丁度7日目で書くのをやめている。これは、恐らく、インターンの生活が軌道に乗ったからであろう。

研 修 日 誌

[研修場所]:

氏名 川本	9月4日 ()	天候	気温	度	時 分 起床 時 分 就寝
今日の予定	午前				午後 メンバー初顔合わせ。 宿舎入り。
日替わりグループ名	午前				午後
今日の結果:					
使用機材: ビデオ、デジカメ (文房具も具体的に)					
反省点、改善点: 事前研究不足すぎた。軽い気持ちで来た。後悔している。					
達成事項:					
収穫事項:					
体調(詳細に): 工員食堂のご飯料理は、お腹をこわす原因だ!					
感想: (自分の意見など): きたない! すたれている。最悪! 怖い! 人々の目つきが悪い! 鼻もげる!! 西村氏: 治安が最悪。役人、サギ、盗難等が日常的に発生している。 「自分は自分で守りなさい。」 { 最悪!! ストライキの話禁止!! 「ヤマウチ」で大き なストライキがあり、ワーカーがピリピリしている。 モリテックスの社員と夕食会。 何言ってるの? 中国語がわからない。 ☆女性社員の方が僕のお皿に食べ物をよそってくれる。やさしい! 宿舎最悪!! 歌うるさい。 害虫が多発!! 帰る!!					

研 修 日 誌

[研修場所]:

氏名 川本	9月5日 ()	天候	気温	度	時 分 起床 時 分 就寝
今日の予定	午前				午後 立石さん、佐藤さん、石井さんのお話し
日替わりグループ名	午前				午後
今日の結果: テクノセンターの役員のみなさんに中国でのすごかったコミュニケーションのとりかた、生きかた等のありがたい話をきいた。					
使用機材: ビデオ、デジカメ (文房具も具体的に)					
反省点、改善点: 積極性がないので寮生達ともっと話しをして仲良くなりたいです。					
達成事項:					
収穫事項:					
体調 (詳細に):					
感想: (自分の意見など): 吐き気がする。 石井さんの話: 必ず手を上げて質問!! 人とちがう事をやれ!! 時間があるなら世界を見ろ!! コミュニケーションは言葉ではなく「心」でつたえあう。 佐藤さんの話: 同じ目線に立って同じメシを食え。→①をつたえることが大切。 ☆同じ寮の人々が卓球に誘ってくれました。 治安がすごく悪いと聞いていたので、やさしくして頂いた事がすごく良かったです。 でもフロのお湯は出てほしい。カーテンが短いので陰部が見える。					

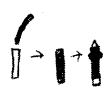
研 修 日 誌

[研修場所]:

氏名 川本	9月6日 ()	天候	気温	度	時 分 起床
					時 分 就寝
今日の予定	午前	川副さんの講演			午後 行動計画書作り
日替わりグループ名	午前				午後
今日の結果:					
使用機材: ビデオ、デジカメ (文房具も具体的に)					
反省点、改善点: 2日連続で講演を聞き、「遊び半分」で参加した自分を反省する。					
達成事項:					
収穫事項:					
体調(詳細に):					
感想: (自分の意見など): 川副氏: ここに来て受けた印象が『中国』のすべてではない。英語、中国語を身につけることが大切! 物作りの中国が変わってきている。すごい経済成長をしているので、近い将来「世界の市場」となる。 物作りが段々中国からベトナム、フィリピン等にシフトしていつている。 中国も環境問題について考え始めている。ゴミも家畜のエサとなっている……。					

研 修 日 誌

[研修場所]:

氏名 川本	9月7日 ()	天候	気温	度	時 分 起床
					時 分 就寝
今日の予定	午前	ヤマウチ	午後	ヤマウチ	
日替わりグループ名	午前		午後		
今日の結果:					
使用機材: ビデオ、デジカメ (文房具も具体的に)					
反省点、改善点:					
達成事項:					
収穫事項:					
体調(詳細に): 水が合わない。					
感想: (自分の意見など): ソニーのプレステや大手OA機器の下請けをしている。 ブラザー、エプソン以外のOA会社との取引がある。 シンガポール: iPod マレーシア: PSP、デジカメ ベルギー: アルカリ電池 深圳: コピー機の給排紙ローラー 					
実習管理をしているワーカーの余さんが話しかけてくれた。結婚して幸せらしい。					
上海: ライン実習 → { きつい。 あつい。					
日本食を久しぶりに食べる。うまい! 夜、宿舎の人々と筆談。仲よくなり写真を撮る。 チョウさん、チョウさん、リュウさん、ヨウさん。 今日はゲリがひどい。					

研 修 日 誌

[研修場所]:

氏名 川本	9月8日 ()	天候	気温	度	時 分 起床
					時 分 就寝
今日の予定	午前	Free		午後	日本語教室
日替わりグループ名	午前			午後	
今日の結果: 休日なので、日本語教室を見学する。					
使用機材: ビデオ、デジカメ (文房具も具体的に)					
反省点、改善点:					
達成事項:					
収穫事項:					
体調 (詳細に):					
感想: (自分の意見など): テクノセンター内で日本語を勉強している中国人の方々の教室を見学した。先生のはからいで中国人の方々の前で自己紹介をした後、みんなで「幸せなら手をたたこう」を歌った。みんな一生懸命だった。 夜、別の寮生の方々にピンポンに誘ってもらった。 中国の人は本当にうまい。14才の少女に携帯電話しながらの片手で負けた。遅くまで遊んでいたのも同じ部屋の仲間から部屋をしめだされる。キツイ!					

研 修 日 誌

[研修場所]:

氏名 川本	9月9日 ()	天候	気温	度	時 分 起床
					時 分 就寝
今日の予定	午前	深圳ミニチャイナ		午後	
日替わりグループ名	午前			午後	
今日の結果: 休日なので、テーマパークへ行く。					
使用機材: ビデオ、デジカメ (文房具も具体的に)					
反省点、改善点:					
達成事項:					
収穫事項:					
体調 (詳細に):					
感想: (自分の意見など): 「万里の長城」や「少林寺」など中国の歴史ある建造物がミニチュアでたくさんあった。 かなり広くてつかれた。でも、ショーの演出がかなり派手でかつこ良かった。爆発などの火薬 の量が日本よりも多いので、かなり迫力があつた。 寮に戻るとルームメートの方々にピンポンに誘われる。 楽しい! さらに太極拳も教えてもらった。					

研 修 日 誌

[研修場所]:

氏名 川本	9月10日 ()	天候	気温	度	時 分 起床
					時 分 就寝
今日の予定		午前	モリテックス		午後 ピーチジョン
日替わりグループ名		午前			午後
今日の結果:					
使用機材: ビデオ、デジカメ (文房具も具体的に)					
反省点、改善点:					
達成事項: 少しは現地の人に溶け込めた。					
収穫事項: モリテックス会長の石井さんと話ができたこと。					
体調 (詳細に):					
感想:					
(自分の意見など):					
モリテックス (石井さん) (モリテックスは、宿舎などきれいで小学校みたいだった。)					
<p>光ファイバー製造。 → 二十構造</p> <p>髪は毛より細い。 → 透明</p> <p>ガラスをとかし、細状にする。 → 不透明</p> <p>まきとってたばねた後、一本一本を手作業で装置にはりつけていく。</p>					
<p>社員の 女 男 リーダーはほぼ女性。</p> <p>男女比 9 : 1 ☆リーダーに人事の仕事をまかせている。男のクビが多い。学校に行けてない人が多いので、お金よりも知識を身につけたいと思っている人も多い。</p>					
人脈は人生の財産。連絡をマメにとる。年賀状に直筆で一言つける。					
<p>PEACH JOHN → 検品作業をする。</p> <p>日本よりかなりコストが安い。1日5万円位。</p> <p>日本と中国では検品の基準がちがうのでもめた。日本は厳しくチェックする。</p> <p>ブラジャーのパーツの多さにおどろいた。</p>					

今後へのアドバイス (S.S. より)

私が中国に行って体験した事、感じたことで、今度行く人にアドバイスできる事

- ・テクノセンターのまわりの道は、舗装されていなくて、砂ぼこりがひどい。
- ・ゴミのにおいがひどい
- ・外で売っている食べ物は、あぶなそう。特に屋台、露店。
- ・テクノセンター内で働いている人たちは、みんな、気さくで仲良くなれることができた。
- ・中国語が喋れなくても、ジェスチャーや少しの中国語でコミュニケーションをとる事ができる。
- ・ワーカーの寮のベットはダニがひどくて、ダニスプレーがなかったら、血をすわれる。
- ・寮でぐっすり寝るには、3日はかかる。逆に寝ごちがよくなるようになる。
- ・工員食堂のご飯は、現地の人たちもひどいと言うほどおいしくない。おいしい物を食べるにはお金を出すしかない。
- ・昼間でも1人で外を歩き回るのはやめた方がいい。工員食堂の物を食べると、絶対と言っていいほどお腹が痛くなる。
- ・トイレは寮でじゃなくて、テクノセンター内のトイレでした方がいいと思う。
- ・風呂は、シャワーしかない。しかも水だけ。あたたかいお湯を使いたいのであれば、自分でくみに行かなければならないのでめんどろ。
- ・外を歩く時は、カバンなどを持たずに手ぶらで行った方が良い。←キケンな目に遭ってはいないのだが。

中国に持っていくと良い物

虫よけスプレー、ダニスプレー、生活用品、時計 など
 かぜぐすり
 胃腸薬

3. 事後研修（帰国後の成果）

- 2007年10月7日 奈良産業大学オープン・キャンパスで「プロジェクト演習」紹介のさい、学生3人（鹿又修一、福西康真、栗原旬平）に体験発表を指導（筆者がコーディネーター）。
- 2007年10月20日 三室祭で同じメンバーによる「中国ビジネス・インターンシップ」体験報告会を行う。テーマ：「見よ！ この変身したボクを！」。
- 2007年10月21日 入試広報課が全面「中国ビジネスインターンシップ」のPRチラシを写真入りで作成。実践型「プロジェクト演習」で、社会で役立つ力を身につける。

「言葉がわからなくてもわたりあえることがわかった」(中国ビジネスインターンシッププロジェクト 4回生 川本智寛)

- 2007年11月8日 香港及び中国華南地区で発刊されている「月刊クロスロード」(日中バイリンガル交流誌)の取材記事が写真入りでインターンシップC班が掲載。特に、川本智寛君が、記者から代表質問されているのが目立っている。
- 2007年11月10日 平成19年度奈良産業大学インターンシップ制度認定証授与式。この時、代表で川本智寛君が参加した体験を綴った感想文を報告する。
- 2007年11月20日 本学「図書館新聞」第1号に、中国ビジネスで17年間実践してきた本を紹介しつつ、「中国ビジネス・インターンシップ」に参加するのが良いと、推奨された。
- 2007年12月5日 生駒郡平群町在住の長田朱美氏発行のタウン誌「うぶすな」(第66号)に「中国ビジネス・インターンシップの感想」と題して、本学学生福西康真君の記事が掲載される。
- 2008年3月 奈良産業大学『産業と経済』(人文・自然・体育特集号)、第22巻5号に「中国インターンへの道」を上梓。
- 2008年4月 上記稿を奈良産業大学ビジネス学部のHPに掲載していただく。
- 2008年5月 『図書館新聞』第7号に「中国ビジネス・インターンシップ」の特集記事が掲載。
- 2008年7月 テクノセンター主催 中国での「インターンシップ」A班に本学情報学部3回生の学生2人が参加。
- 2008年8月 上記B班に本学ビジネス学部2回生の学生2人、経済学部4回生の学生2人、計4人が参加。
- 2008年9月 上記C班に本学ビジネス学部2回生の学生2人、法学部3回生の学生2人、計4人が参加。
- 2008年10月11日 本学今年度最後のオープン・キャンパスにて、今夏「中国インターンシップ」に参加した学生4人(A班1人、B班1人、C班2人)が「成果発表」をした。これは、筆者がビジネス学部プロジェクト演習として展開している「中国ビジネス・インターンシップ」について紹介する一環である。
- 2008年10月18日 本学学園祭(三室祭)に於いて、上記4人のメンバーが成果発表をした。今回は、発表する時間も少々長く、時間制約を気にすることなくできた。「中国の若者達の目はなぜキラキラ輝いて、(日本と比較して)劣悪な環境でも、なぜがんばれるのか？」これを中心に、各人が報告。当日、聴衆者として来場された先生方は異口同音に皆「君たち学生諸君の発表に感動した!」と感想を述べられた。絶賛に近いほめ言葉に対して、私自身が感動

した。苦勞してインターンに参加した者、私自身もA、B、C班全てに
同した辛勞が報われた感じである。

〔附録1〕

テクノセンター・インターンシップ受け入れ担当 西村三砂科長（日本の課長と同等）より示された「研修計画書」の見本である、2点掲げる。なお、大学名と氏名は伏せる。

研修計画書

大学

1. 問題意識

近年、中国は目覚ましい経済成長を実現しています。このため、多くの外国企業が中国市場に参入し、様々な製品を生産しています。日本企業もそのうちの一つであり、大企業のみならず中小企業が多数中国に進出しています。また逆に、日本市場では様々な中国製品が浸透しており、日本と中国の関係はますます深くなっています。即ち、今や中国は日本企業にとって、市場としても生産基地としても不可欠な存在となっています。このように目覚ましい発展を遂げている中国ですが、私自身は中国の真実の姿をほとんど知りません。私は日本から見る中国と実際の中国の現場がどのように違うのかという点について強い興味を持っています。貴センターのインターンシップ研修を通じて生産の現場を知るとともに、中国の方たちとの交流を通じて自分自身の視野を広げたいと考えています。同時に、急激な経済発展によって、中国の環境面や労働者の状況などはどのように変化しているのかについても、実際にこの肌で感じたいと思っています。

2. 研修内容

研修では、貴センターに進出していらっしゃる日系企業の社員の方々にインタビューするとともに、現場の実習を通じて生産工程の特徴や強み、課題などを研究したいと考えています。

- (1) 進出企業の目的、現況、課題
- (2) 生産工程管理における日本と中国の相違点
- (3) 生産基地としての深圳の特長・課題、他地域との比較
- (4) 現地で働く人々の目標、目的（日本人同世代との違い）
- (5) 会計情報と非会計情報（資源の調達手法や人的資源など）との関係

3. 発展課題

私は発展課題として、中国の環境問題についても考えてみたいと思います。急激な経済成長の一方で、環境への負荷が心配されています。実際に大気汚染など様々な問題が指摘されていますが、現地ではどのような状況となっているのか、また具体的な対策は政府レベル、地方自治体レベル、或いは企業レベルでどのようになされているのかなどについても検討してみたいと考えています。

まだまだ未熟な内容ですが、実際に自分の肌で感じ考えていきたいと思っていますので宜しくお願いします。

研修計画書

「民工の将来 一同質的将来像」

大学 学部 3 年

私はこれまでに大学1年生の春休み、2年生の夏休み、春休みと3回中国へ行った。上海、南京といった大都市を始め、中国の農村（江西省広豊県）、民工小中学校（浙江省海寧市）、大学（重慶師範大学）、さらに義烏、南陽などに行った。そして、それぞれの場所で農家の人、農村の子ども、民工学校の先生や生徒、師範大学の先生や大学生に話を聞き交流を深めている。

これまでに3回中国に行き関心を持ったのが、中国独特の戸籍制度とそれによって生じる階層社会についてである。中国では戸籍制度が農村と都市の間に大きな壁として存在している。農村と都市では別々の戸籍で管理され、農村に住む人達は行き来することはそれほど制限されてはいないが、農民が都市で定住することは制限されている。しかし、1億人以上の農民は農業では生計を立てることが難しく、都市部へ出稼ぎに行く。このような人達が民工と呼ばれている。民工が新しい土地、都市部へ出稼ぎに行った時、故郷の農村で受けられていた福利厚生が受けられなくなるデメリットがあるにもかかわらず、安い賃金でも労働をしている。

こうした民工と呼ばれる人々を新たな階層となれば、中国には3つの階層が存在する。1つは農村で農民として暮らす人々、2つは都市で生まれ育ち、農民から見ればとても優遇された福利厚生を受けて暮らす人々、そして3つには農村を離れ都市部へ出稼ぎとして暮らす人、すなわち民工である。

そして、これまでの旅行の中で3つの階層には賃金、労働分野、待遇、公共サービス、差別など経済的、社会的に大きな違いがあることがわかった。

しかし、民工の話を聞くうちに意識や将来に対する考え方について違いはなく、むしろ誰

もが「前向き」であると感じた。そこで今回のインターンシップを受けるにあたり、次のような大まかな作業仮説を立ててみた。

「中国において、それぞれの人々には戸籍制度の下で階層の違いはあるが、誰もが同じ意識で行動しているのではないか」というものである。

この仮説の検証として、私は絵を描いてもらおうと考えている。絵は一目見るだけでその人の考えがリアルに表現されるものであり、文章や会話などより核心に迫れるのではないかと考えたからである。“将来の夢”というテーマで絵を描いてもらうことにより、それぞれの階層が考える将来の目標とする生活像を見比べ意識の比較ができるのではないかと考えている。

今回の調査では3カ所を予定している。第1に深圳テクノセンターで働く民工。第2に民工学校の奨学生。そして第3に重慶師範大学の大学生である。そして、この3者をカテゴリー別に、①民工と大学生、②民工と小学生、に分けひとつひとつ比較していく。このように3カ所で調査する理由は次の2つの視点から比較をしたいと思っているからである。

第1の視点は、民工と大学生の比較である。両者は年齢が近く、同年代といえる階層の違う横の軸で考える。民工は主に3K労働、大学生はホワイトカラー予備軍であり、ある意味、両者は太極に位置している。民工は下流層、大学生はエリート層になっていく可能性は高い。よって従事する職業の賃金、仕事内容に大きな差が将来生じるはずである。民工は、貧しいながらもより良い条件の職場へ転職してより良い生活を目指すであろう、また大学生も民工とはステージの違いはあるが同様に、将来は管理職やキャリアを目指し、少しでも高収入を目指すであろう。つまり、実現性の高低ではなく、意識や目標という面では両者には大差がなく、絵にも大きな違いがないと予測する。つまり、民工と大学生は対立関係にあるのではなく、同じ方向に向かっているのではないかと推測している。

第2に民工と民工学校の小学生の比較である。現在テクノセンターで働いている民工は一般的に民工第二世代といわれている。つまり、その民工の子どもである民工学校の小学生はその第三世代となる。よって、第2の比較では同じ階層で年齢の違う縦の軸で考えるということである。予測として、民工の子どもたちはたとえ子どもであっても、親や、周りの人々の様子を見て、刷り込み的に、遺伝子的に低賃金が組み込まれているだろう。この比較でもこれから従事することになると考えられるルーティン・ワークの現状や、民工学校という決してレベルが高いとはいえない学校に通い、いつ閉鎖されるかわからない現状があるにもかかわらず、やはり実現性の高低ではなく、目標を高く持っているのではないのかと考えられる。

現在の中国で少しずつ顕在化しつつある労働者不足について、「民工慌」という言葉も登場している。この先、労働者が少なくなり、労働者に辞められることを軽く見ることはできなくなるだろう。そうなったとき離職率が高いこのままでは、生産を続けることができなくな

るだろう。

よって今回の調査では、少しずつ影響が出始めている労働者不足の問題について提言できると考える。労働者の離職率を下げ、長期雇用できる労働力を確保することが必要となる。また更に長期働くことにより技術向上も見込めるだろう。よって、これら2つの比較をして、仮説のとおり、階層の違いに関係なく誰もが同じ上昇意識で行動するということが正しいとなると「民工の人たちは夢を持ち、転職を続けていく」ことがわかるのではないか。そこから、中国で民工たちを雇うときには、ステップアップができる環境にすることによって、一人の従業員に長く働いてもらうような民工に対する労務管理の方向を変える必要も生まれてくるのではないかと提言できる。

〔附録2〕

深圳市觀瀾の物価の一斑を示す（吉盛酒店隣のスーパー“民楽福”にて）

冬瓜（トウガン）	500 g	約 6 円
玉米（トウモロコシ）	1 本	約 9 円
葡萄（巨峰）	500 g	約 240円
梨	500 g	約 30円
苦瓜（ニガウリ）	500 g	約 13円
ブタ肉	500 g	約 150円～ 170円
鶏肉	一羽	約 200円
鶏モモ肉	500 g	約 45円～ 50円
ローストチキン	500 g	約 160円
皮蛋（ピータン）	8 個入り	約 150円
からし大根（切ったもの）	500 g	約 70円
卵	8 個入り	約 80円
ゴマ付きパン	1 本	約 10円
肉のでんぶ入りパン	1 個	約 30円
乾燥米粉（ビーフン）	500 g	約 50円
トウモロコシのマントウ	1 個	約 8 円
ビスケット	500 g	約 80円
フルーツゼリー	500 g	約 56円
地ビール（大瓶）	1 本	約 50円
ミネラルウォーター	1 本	約 15円～ 30円
スプライト（1.5ℓ大瓶）	1 本	約 80円～ 100円
チョコレート	1 箱	約 400円～ 500円

スナック菓子 (大袋)	1 袋	約 30円
調整牛乳 (紙パック250ml)	1 箱	約 30円
魚の缶詰 (正味150 g)	1 缶	約 50円
緑豆 (リョクトウ)	500 g	約 60円
トイレットペーパー	10ロール	約 160円
〈かつば〉えびせん (大袋)	1 袋	約 30円
きくらげ	500 g	約 270円

〔主要資料〕

テクノセンターnews (2007～2008年) [テクノセンターHP]

佐藤正明『望郷と訣別を』(文春文庫), 1997年。

フジテレビ制作『“働く” ってなに? 20歳の中国工場体感記』, 2008年, 7月3日(木)

深夜02:38～03:38 放送

中国インターンシップ「研修資料」, 2007年, 2008年。